第 1 日　9 月 2 日（土）　9:00 ～ 10:30

時間	果樹 I C5–202	果樹 II C5–301	果樹 III C5–302	果樹 IV C5–303	野菜 I C4–301	野菜 II C4–201
9:00	**ナシ I** **松本　辰也** 果 001 セイヨウナシの単為結果性の品種・系統間差異 ○多田史人[1]・髙橋由信[2]・佐々木泰子[1]・安達栄介[3]・石黒亮[1]（[1]山形農総研セ園試, [2]山形北村山農技普課, [3]山形農林水産部）	**温度・耐凍性評価** **杉浦　俊彦** 果 025 ニホンナシの自発休眠打破と耐凍性に及ぼす ABA およびシアナミド処理の影響 ○稲本俊彦[1]・宮川紗綾[2]・坂廼辺忠幸[2]・竹村圭弘[2]・田村文男[2]（[1]鳥取大院持続性社会創生科学研究科, [2]鳥取大農学部）	**遺伝子解析 1（カキ）** **板井　章浩** 果 046 カキ属の全ゲノム配列解読（第 1 報）：系統特異的なゲノム進化 ○赤木剛士[1, 2]・白澤健太[3]・長崎英樹[3]・平川英樹[3]・Comai, Luca[4]・田尾龍太郎[1]・Henry, Isabelle[4]（[1]京都大院農学研究科, [2]JST さきがけ, [3]かずさ DNA 研, [4]カリフォルニア大デービス校）	**キウイフルーツ** **薬師寺　博** 果 069 キウイフルーツかいよう病 Psa3 系統の発生圃場における‘さぬきゴールド’及び‘香緑’の発病様相の推移と樹体及び果実品質への影響 ○福田哲生[1]・生咲巌[1, 2]・水谷亮介[1]・坂下亨[1]・真鍋徹郎[1]・濵野康平[1]・大谷衛[1]（[1]香川農試府中果樹研, [2]香川農試防除所）	**育種・栽培** **（ナス・パプリカ）** **髙畑　健** 野 001 ネコブセンチュウ抵抗性で選抜されたナス遺伝資源の土壌病害抵抗性評価 ○齊藤猛雄[1]・上杉謙太[2]・村田岳[2]・植原健人[3]・松永啓[1]（[1]農研機構野菜花き部門, [2]農研機構九沖農研, [3]農研機構中央農研）	**育種（イチゴ）** **吉田　裕一** 野 024 一季成り性イチゴ新品種‘C-2’の育成 ○高山詩織[1]・鹿野弘[1]・今野誠[1]・高野岩雄[1]・柴田昌人[1]・小野寺康子[2]（[1]宮城農園研, [2]大崎農改セ）
9:15	果 002 二ホンナシ自家和合性品種と不和合性品種の混植による自然受粉栽培技術の検討 ○池田隆政[1]・角脇利彦[2]・井戸亮史[1]（[1]鳥取園試, [2]鳥取県庁）	果 026 数種の方法によるアポカド数品種の耐寒性評価 ○島田温史[1]・山本雅史[1, 2]（[1]鹿児島大院連合農学研究科, [2]鹿児島大農学部）	果 047 Gene Network conferring the flexibility of sexuality in oriental persimmon ○楊賀雯[1]・赤木剛士[1, 2]・田尾龍太郎[1]（[1]京都大院農学研究科, [2]JST さきがけ）	果 070 ポット苗におけるキウイフルーツかいよう病菌 Psa3 系統の有傷接種後の低温遭遇が各品種の発病に及ぼす影響 ○真鍋徹郎[1]・生咲巌[1, 2]・遠藤温子[2]・水谷亮介[1]・福田哲生[1]・濵野康平[1]・大谷衛[1]（[1]香川農試府中果樹研, [2]香川農試防除所）	野 002 昼温や夜温が水ナスつやなし果発生に及ぼす影響 鈴木真実・○瀬上修平・森川信也・鈴木敏征・磯部武志（大阪環農水総研）	野 025 循環選抜法によるイチゴ育種素材の作成（その 4） ○片岡園・野口裕司（農研機構野菜花き部門）
9:30	果 003 ニホンナシの新規ポリネーターとしてのハエの有用性 ○石田花那[1]・谷川隆大[2]・武森洋平[1]・岸川明日香[1]・後藤絢太郎[1]・渡邊優子[2]・筧重文[2]・不断哲男[2]・正木健太郎[2]・菅原悦子[3]・前藤薫[1]・佐藤卓也[4]・片山寛則[2]（[1]神戸大院農学研究科, [2]神戸大農食資源センター, [3]岩手大教育学部, [4](株) ジャパンマゴットカンパニー）	果 027 ビワなつたよりの果実重と開花日および積算温度との関係 ○内野浩二・久木田等・濱島朗子・岩田浩二・熊本修（鹿児島農総セ果樹）	果 048 カキ甘渋性決定遺伝子座とシンテニィのあるマメガキゲノム領域の解析 ○西山総一郎[1]・尾上典之[2]・河野淳[2]・佐藤明彦[2]・牛島幸一郎[3]・山根久代[1]・田尾龍太郎[1]・米森敬三[4]（[1]京都大院農学研究科, [2]農研機構果樹茶部門, [3]岡山大院環境生命科学研究科, [4]龍谷大農学部）	果 071 休眠枝を用いた有傷接種によるキウイフルーツかいよう病 Psa3 系統に対する各品種の抵抗性評価 ○濵野康平[1]・水谷亮介[1]・生咲巌[1, 2]・福田哲生[1]・真鍋徹郎[1]・大谷衛[1]（[1]香川農試府中果樹研, [2]香川農試防除所）	野 003 温室での細霧冷房が水ナスの収量や果実品質に及ぼす影響 ○鈴木真実・瀬上修平・森川信也・鈴木敏征・磯部武志（大阪環農水研）	野 026 イチゴ核置換系統に出現した雄ずい形態異常 ○野口裕司・片岡園・小島昭夫 *（農研機構野菜花き部門, *JST）
9:45	果 004 果樹用静電式受粉機による花粉使用量の削減 ○村上覚[1]・山根俊[2]・山口和希[1]・橋本望[1]・荒木勇二[1]（[1]静岡農技研果樹研セ, [2]静岡農技研）	果 028 低温処理期間とその後の加温温度がブドウ‘シャインマスカット’の発芽日に及ぼす影響 ○杉浦裕義・東暁史・山﨑安津・薬師寺博（農研機構果樹茶部門）	果 049 カキにみられる多様な果実形状の数値化 ○前田春香[1]・赤木剛士[1, 2]・田尾龍太郎[1]（[1]京都大院農学研究科, [2]JST さきがけ）	果 072 キウイフルーツかいよう病に対する品種抵抗性の評価（第 4 報）1 年生枝を用いたかいよう病菌 biovar の違いによる病徴評価 ○兵頭紋佳[1]・宮田信輝[1]・清水伸一[1]・福田哲生[2]（[1]愛媛農林水産研果樹研究センター, [2]香川農試府中果樹研）	野 004 発表取り消し	野 027 イチゴ果実における抗酸化活性の品種間差異と時期的変動 ○藤田敏郎・沖智之・遠藤（飛川）みのり・曽根一純（農研機構九沖農研）
10:00	**ナシ II** **池田　隆政** 果 005 ニホンナシジョイント樹形における自動走行車両による溶液受粉技術の開発 小泉和明・○関達哉・柴田健一郎・廣瀬恭祐（神奈川農技セ）	**ブドウ** **柚木　秀雄** 果 029 ブドウ‘シャインマスカット’の加温栽培における果房周辺の光環境が糖度上昇に及ぼす影響 ○安井淑彦・中島譲・平井一史（岡山農総セ農研）	**遺伝子解析 2** **赤木　剛士** 果 050 ニホンナシ *S2* および *S4* ハプロタイプ間のゲノム構造比較 ○西村遼太郎[2]・安藤肇[1]・藤本龍[1]・安田（高崎）剛志[1]（[2]農研機構果樹茶部門, [1]神戸大院農学研究科）	**原発事故対策** **高田　大輔** 果 073 カキ果実および葉の生育ステージ別の放射性セシウム濃度 ○関澤春仁[1]・堀井幸江[2, 3]・八戸真弓[4]・濱松潮香[4]（[1]福島農総セ, [2]農研機構果樹茶部門, [3]農研機構東北農研, [4]農研機構食品部門）	**育種・生育生理** **（トウガラシ）** **田中　義行** 野 005 青枯病・疫病抵抗性台木用トウガラシ品種候補トウガラシ安濃交 3 号の育成 ○松永啓・齊藤猛雄（農研機構野菜花き部門）	**栽培（イチゴ）** **高山　詩織** 野 028 広島県庄原地域における‘よつぼし’のセル苗直接定植でのマルチが成育と収量に及ぼす影響 ○藤本哲平・越智資泰（広島農業技術大学校）
10:15	果 006 二ホンナシジョイント V 字樹形における収穫自動化のための着果管理技術の開発 ○柴田健一郎・廣瀬恭祐・関達哉（神奈川農技セ）	果 030 大粒系統‘デラウェア’を利用したジベレリン処理法の改善 ○栂野康行[1]・安田雄治[1]・松本敏一[2]（[1]島根農技セ, [2]島根大生物資源科学部）	果 051 ビワの熟期に関する量的形質遺伝子座（QTLs） ○松隈公孝[1]・中川利嗣[1]・石本慶一郎[2]・稗圃直史[2]・山本俊哉[3]・永野幸生[4]・福田伸二[1]（[1]佐賀大農学部, [2]長崎農林技術開発セ果樹茶部門, [3]農研機構果樹茶部門, [4]佐賀大分析セ）	果 074 せん定処理及び改植によるカキ‘蜂屋’の放射性セシウム濃度の推移 ○桑名篤・安達義輝・松本登・佐藤守（福島農総セ果樹研）	野 006 Effects of water supply on the sugar, glutamic acid and capsaicinoid content in chili pepper (Capsicum annuum). ○Rathnayaka Mudiyanselage, Sangeeth Maduraga Bandara Rathnayaka[1]・朴永俊[2, 4]・南峰夫[2]・根本和洋[3]・松島憲一[3]（[1]信州大院総合理工学研究科, [2]信州大農学部, [3]信州大学術研究院（農）, [4]韓国農漁村公社農漁村研究院）	野 029 本圃直接定植法における長日処理期間の違いがイチゴ種子繁殖型品種‘よつぼし’の開花と花房間葉数に及ぼす影響 ○香西修志・松崎朝浩（香川農試）

第 1 日　9 月 2 日（土）　9:00 ～ 10:30

野菜 III C4–101	野菜 IV C5–201	花き I C1–101	花き II C1–201	花き III C1–301	利用 I C5–101	時 間
育種・栽培 （アスパラガス） 山崎　篤 野 048 紫アスパラガス新品種‘さぬきのめざめビオレッタ’ ○池内隆夫（香川農試）	**施設･環境制御（その他） 名田　和義** 野 071 ジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性品種の種ばれいしょ養液生産方法の確立 ○吉田華奈子[1]・清水政仁[2]・米山まどか[3]・岩谷潔[3]・三澤孝[4]・今藤光幸[4]・木村哲男[4]・新川寛[4]・高橋美羽[4]・執行正義[1, 2, 3]（[1]山口大院創成科学研究科, [2]山口大院農学研究科, [3]山口大農学部, [4]農研機構種苗管理セ北海道中央農場）	**育種 1 落合　正樹** 花 001 日持ち性の優れるカーネーションとカワラナデシコとの交雑 F_2 世代における花型, 日持ち性および香気成分の解析 ○小野崎隆•岸本久太郎（農研機構野菜花き部門）	**遺伝子組換え 田崎　啓介** 花 023 トレニア由来 *TfMYB1* 遺伝子の過剰発現によるタバコの花色および葉色の改変 ○伊藤莉沙・鈴木栄（東京農工大院農学府）	**開花生理 窪田　聡** 花 042 夏秋ギク‘岩の白扇’の暗期中断における R+FR 光の効果 ○白山竜次・木戸君枝（鹿児島農総セ）	**収穫後生理・ 遺伝子発現解析 加藤　雅也** 利 001 低温によるトマトの異常食感形成機構に関する研究 ○澤田幸尚[1]・聖代橋史佳[2]・上吉原裕亮[3]・水野真二[3]・吉田誠[4]・渡辺慶一[1, 3]•立石亮[1, 3]（[1] 日本大院生物資源科学研究科, [2]神奈川農政課, [3]日本大生物資源科学部, [4]神奈川農技セ）	9:00
野 049 アスパラガス半促成栽培における繁茂度に基づく茎葉管理技術の検討　第 3 報　茎葉繁茂度の測定条件と適正値 ○江原愛美[1]・重富修[1]・三浦裕子[1]・権藤謙二[2]・河濟英紀[2]•中島寿亀[3]•田川愛[1]•溝口千佳[4]（[1]佐賀農試研セ, [2]東部農林事務所, [3]佐賀農技防セ, [4]杵藤農林事務所）	野 072 レタス幼植物体に含まれるクロロゲン酸含有量は根域環境と光周期によって変動する ○下村未知瑠[1]・藤内直道[2]・吉田英生[2]・有泉亨[2]・江面浩[2]・福田直也[2]（[1]筑波大院生命環境科学研究科, [2]筑波大生命環境系）	花 002 イギリスから導入したスイートピーの日持ち性 ○中村薫・倉永泰代・長友広明（宮崎総農試）	花 024 キク L1 層に存在する外来遺伝子の後代への遺伝性 ○間竜太郎・佐々木克友・能岡智（農研機構野菜花き部門）	花 043 短期間の暗黒処理が鉢花カーネーションの萎れ症状に及ぼす影響 ○中島拓[1]・渋谷健市[2]・市村一雄[2]・高橋睦宏[3]・加藤正広[1]（[1]千葉農林総研セ, [2]農研機構野菜花き部門, [3]雪印種苗（株））	利 002 Comparison between ethylene- and low temperature-induced color change in Satsuma mandarin fruit through RNA-seq analysis ○ Mitalo, Oscar Witere[1]・土佐康彰[1]・笠原有加[1]・常盤淑玲[1]・近藤憂紀[2]・牛島幸一郎[1, 2]•中野龍平[1, 2]•久保康隆[1, 2]（[1] 岡山大院環境生命科学研究科, [2]岡山大農学部）	9:15
野 050 アスパラガス多収生産のための土壌診断指標　2. 指標の追加と下層土の評価 ○井上勝広[1]・山田寧直[2]・尾﨑哲郎[2]（[1]長崎農技セ, [2]長崎農園課）	野 073 温室内と人工気象器内で栽培したゴマの葉の光合成・蒸散特性ならびに無機養分含量の差異 ○畑直樹[1]・渡邉理紗子[1]・伊達修一[2]（[1]滋賀県立大環境科学部, [2]京都府立大院生命環境科学研究科）	花 003 キク矮化ウイロイド抵抗性小ギクの後代への抵抗性の遺伝について ○虎太有里[1]・浅野竣介[1]・仲照史[1]・中嶋大貴[1]・松下陽介[2]（[1]奈良農研セ, [2]農研機構野菜花き研）	花 025 シクラメンの花弁で発現する遺伝子のプロモーターとキメラリプレッサーを用いたトレニアの組換え育種 ○笠島一郎[1, 2]•大坪憲弘[1, 3]•佐々木克友[1]（[1]農研機構野菜花き部門, [2]岩手大農学部, [3]京都府立大）	花 044 ノリウツギにおける新梢および前年枝剪定における開花調節技術の開発 ○穴澤拓未[1, 2]•藤木俊也[1]・山根健治[3]（[1]山梨総農技セ, [2]東京農工大院連合農学研究科, [3]宇都宮大農学部）	利 003 RNA-seq によるセイヨウナシ‘パス・クラサン’果実の低温応答性の解析 ○土佐康彰[1]・Mitalo, Oscar Witere[1]・常盤淑玲[1]・近藤憂紀[2]・牛島幸一郎[1, 2]•中野龍平[1, 2]•久保康隆[1, 2]（[1] 岡山大院環境生命科学研究科, [2]岡山大農学部）	9:30
野 051 アスパラガスの点滴かん水同時施肥が土壌の化学性と収量・品質に及ぼす影響 ○井上恵子[1]・古賀武[1]・石松敬章[2]（[1]福岡農林試筑後, [2]福岡普及指導セ）	野 074 完全人工光型植物工場における食用サボテン栽培—照射光の波長が生育等に及ぼす影響— ○堀部貴紀・岩ヶ谷陽平・近藤宏紀・山田邦夫（中部大応用生物学部）	花 004 アルゴンイオンビーム照射したキルタンサス花粉における DNA 損傷応答 ○平野智也[1, 2]•花田安那[1]・林依子[2]・阿部知子[2]・國武久登[1]（[1]宮崎大農学部, [2]理研仁科加速器研セ）	**成分・色・香り 中山　真義** 花 026 Rosa‘PEKcougel’× 四倍体 Rosa multiflora の花弁色素成分の分析 ○飯田有樹香[1]（[1]岐阜大院応用生物科学研究科）	花 045 リューココリネ球根の休眠打破に及ぼす温度と処理期間の影響 ○中塚貴司[1, 2]•井出美柚莉[1]・大宮良亮[2]・大野始[1, 2]（[1]静岡大農学部, [2]静岡大院農学研究科）	利 004 ‘香粋’キウイフルーツにおけるエチレン成熟果と低温誘導成熟果の食味・風味成分の比較 ○常盤淑玲[1]・笠原有加[1]・土佐康彰[1]・Mitalo O.W[1]・近藤憂紀[3]・Galis, I[1]・片岡郁雄[2]・末澤克彦[2]・中野龍平[1, 3]•牛島幸一郎[1, 3]•久保康隆[1, 3]（[1] 岡山大院環境生命科学研究科, [2]香川大農学部, [3]岡山大農学部）	9:45
野 052 夏秋どりによる立茎数制限がアスパラガス露地栽培における茎枯病の発病に及ぼす影響 ○酒井浩晃[1]・池田圭佑[2]・矢ヶ崎和弘[1]（[1]長野野菜花き試, [2]長野農改普セ）	**病害 千秋　祐也** 野 075 トウガラシにおける感染性クローンおよび接木によるベゴモウイルス抵抗性評価系の確立 ○本間鹿波[1]・鬼﨑大樹[1]・Kesumawati, Elly[2]・Zakaria, Sabaruddin[2]・神崎真哉[1]・小枝壮太[1]（[1]近畿大院農学研究科, [2]Syiah Kuala University）	**育種 2 太田垣　駿吾** 花 005 キクを種子からつくる III.　新四倍体自殖栽培ギクの候補遺伝子のホモ化 ○谷口研至・草場信（広島大院理学研究科）	花 027 ゲノム編集技術によるリンドウ花色変異体の作出と解析 ○田崎啓介[1]・樋口敦美[1]・渡辺藍子[1]・黒川良美[1]・鷲足理恵[1]・佐々木伸大[2]・西原昌宏[1]（[1]岩手生工研セ, [2]東洋大食環境科学部）	**栽培・作型 1 宮本　賢二** 花 046 電照終了後の高温処理が夏秋小ギク品種の開花に及ぼす影響 ○森義雄[1]・林祐貴[1]・住友克彦[2]・久松完[2]（[1]岡山農研, [2]農研機構野菜花き部門）	**鮮度保持・貯蔵 喜多　正幸** 利 005 加工・業務用キャベツの 4・5 月供給に向けた貯蔵条件の検討 ○髙田優紀[1]・馬場正[1]・山口正己[1]・市田大樹[2]・柴田隆喜[2]・三尋木健史[2]・太田和宏[3]（[1]東京農大農学部, [2]キユーピー（株）, [3]神奈川農技セ）	10:00
育種・栽培 （コマツナ・キャベツ） 藤井　宏栄 野 053 *Brassica rapa* L. と *Eruca sativa* Mill. との属間交雑系統の戻し交雑第 2 世代の育成とそれらのグルコシノレート組成（第 4 報） ○上西愛子[1]•聖代橋史佳[1, 3]•吉田誠[1]・北宜裕[2]（[1]神奈川農技セ, [2]日本大生物資源科学部, [3]神奈川県農政課）	野 076 TYLCKaV はトマトの TYLCV 抵抗性遺伝子 *Ty-3a* を打破する ○藤原郁也[1]・永野智美[1]・本間鹿波[1]・Kesumawati, Elly[2]・Zakaria, Sabaruddin[2]・神崎真哉[1]・小枝壮太[1]（[1]近畿大院農学研究科, [2]Syiah Kuala University）	花 006 フウセンカズラの倍数性育種に関する研究 ○吉田知左[1]・足立由紀子[1]・落合正樹[2]・福井博一[2]（[1]岐阜大院応用生物科学研究科, [2]岐阜大応用生物科学部）	花 028 チューリップの香りの官能評価 第 2 報 ○岸本久太郎[1]・池川誠司[2]・山川美樹[2]・渡邉祐輔[3]・大久保直美[1]（[1]農研機構野菜花き部門, [2]富山農総技セ園研, [3]新潟農総研園研セ）	花 047 夏秋輪ギク「白涼」の 8 月開花作型における葉先枯れ症状軽減対策 ○久村麻子・諸岡淳司（長崎農林技術開発セ）	利 006 精油が収穫後イチゴ果実の品質保持に及ぼす影響 ○石原綾夏[1]・小松崎美穂[2]・山根健治[2]（[1]宇都宮大院農学研究科, [2]宇都宮大農学部）	10:15

第 1 日　9 月 2 日（土）　10:30 ～ 12:00

時間	果樹 I C5–202	果樹 II C5–301	果樹 III C5–302	果樹 IV C5–303	野菜 I C4–301	野菜 II C4–201
10:30	果 007 収穫後の樹上散水処理が加温ハウス栽培ニホンナシ’幸水’の生育に及ぼす影響（第 1 報） ○加藤恵・福田浩幸（佐賀果樹試）	果 031 ブドウ無核栽培におけるストレプトマイシンの効果的な利用方法 ○塩谷論史・宇土幸伸・里吉友貴・小林和司（山梨果樹試）	果 052 ウンシュウミカンにおける早生 1 品種とそれに由来する極早生 2 品種の DNA 比較 ○山本ちひろ[1, 2]・三村高史[2]・松本亮司[2]・永野幸生[1]（[1]佐賀大総合分析セ, [2]佐賀大農学部）	果 075 ユズ果実および細根中放射性セシウム濃度に及ぼす樹体，下草および環境の影響 ○佐藤守[1]・小野勇治[1]・高瀬つぎ子[2]・山口克彦[3]（[1]福島農総セ果樹研究所, [2]福島大環境放射能研究所, [3]福島大理工学群共生システム理工学類）	野 007 カプシカム属の光合成に及ぼす熱ストレスの影響 ○堀井美沙・名田和義・平塚伸（三重大院生物資源学研究科）	野 030 イチゴ「かおり野」の株管理方法が早春の低糖度果発生に及ぼす影響 ○鶴山浄真・木村靖・平田俊昭（山口農林総技セ）
10:45	果 008 ニホンナシ‘にっこり’の環状剥皮処理が果実品質に及ぼす影響 ○大谷義夫・北原智史（栃木農試）	果 032 ブドウ‘シャインマスカット’の上部支梗を用いた省力栽培技術 ○里吉友貴・宇土幸伸・塩谷論史・小林和司（山梨果樹試）	果 053 オウトウゲノムの概要配列の決定 ○白澤健太[1]・五十鈴川寛司[2]・池永充伸[3]・齋藤裕太郎[2]・山本俊哉[4]・平川英樹[1]・磯部祥子[1]（[1]かずさ DNA 研, [2]山形農総研セ園試, [3]北海道中央農試, [4]農研機構果樹茶部門）	果 076 リンゴ果実の表面から内部へのヨウ素の移行 ○川端一史・箭内真寿美・高久雄一・久松俊一（(公財)環境研）	**遺伝資源・栽培（トマト） 松永　啓** 野 008 トマト数品種の緑熟果の追熟特性比較 ○成田絢香[1]・中川卓也[1]・淨閑正史[1]・北条雅章[2]・塚越覚[2]・丸尾達[1]（[1]千葉大院園芸学研究科, [2]千葉大環境健康フィールド科学セ）	野 031 四季成り性イチゴ‘すずあかね’への異なる光質処理が夏秋期の収量に及ぼす影響 ○菊地郁・佐藤みなみ（宮城大食産業学部）
11:00	**ナシ III 草場　新之助** 果 009 ニホンナシ‘あきづき’に対するカリ施用と乾燥処理が果肉障害発生および果実中成分に及ぼす影響 ○島田智人[1]・前島秀明[1]・井上博道[2]・柴崎茜[1]（[1]埼玉県農技研セ, [2]農研機構果樹茶部門）	果 033 着色向上技術の組み合わせがブドウ’ピオーネ’の着色に及ぼす影響 ○宇土幸伸・里吉友貴・塩谷論史・小林和司（山梨果樹試）	**遺伝子解析 3 井上　栄一** 果 054 リンゴ裂果性の QTL と原因ハプロタイプの推定～ QTL 解析とゲノムワイドアソシエーション解析から～ ○國久美由紀[1]・押野秀美[1]・森谷茂樹[1]・阿部和幸[1]・滝田雄基[2]・岡田初彦[3]・佐藤守[3]・山本俊哉[3]（[1]農研機構果樹茶部門, [2]福島双相普, [3]福島農総セ果樹研）		野 009 トマトモデル品種マイクロトムの大規模変異集団整備の成果 ○星川健[1]・有泉亨[1]・福田直也[1]・久保康隆[2]・金山喜則[3]・矢野健太郎[4]・青木考[5]・江面浩[1]（[1]筑波大生命環境系, [2]岡山大院環境生命科学研究科, [3]東北大院農学研究科, [4]明治大農学部, [5]大阪府大院生命環境科学研究科）	**生育生理（イチゴ） 曽根　一純** 野 032 気温がイチゴ品種‘福岡 S6 号’の花粉稔性および雌性稔性に及ぼす影響 ○末吉孝行[1]・小賦幸一[2]・下村克己[1]（[1]福岡農林総試, [2]福岡農林水産部）
11:15	果 010 粗摘果時期および着果量の違いがニホンナシ‘王秋’のコルク状果肉障害の発生に及ぼす影響 ○井戸亮史[1]・田邊未来[2]・池田隆政[1]（[1]鳥取園試, [2]東伯農業改良普及所）	**ベリー類 神崎　真哉** 果 034 サザンハイブッシュブルーベリー‘リベール’とカンサイスノキとの節間雑種の作出 ○小松春喜[1]・執行みさと[2]・内山あかね[1]・國武久登[3]（[1]東海大農, [2]早稲田育英ゼミナール, [3]宮崎大農学部）	果 055 ハプロタイプによるリンゴ裂果性の予測と検証 ○田沢純子[1, 4]・國久美由紀[3, 4]・押野秀美[3]・初山慶道[1]・深澤（赤田）朝子[1, 2]・山本俊哉[3, 4]（[1]青森産技セりんご研, [2]青森産技セ弘前研, [3]農研機構果樹茶部門, [4]筑波大院生命環境科学研究科）		野 010 温室条件下で栽培したエチレン低感受性トマトの収穫時期と果実特性 ○藤内直道・福田直也・江面浩（筑波大生命環境系）	野 033 イチゴ花粉媒介昆虫としてのヒロズキンバエの羽化に及ぼす栽培環境の影響 ○金森健一[1]・佐々木真一郎[1]・西本登志[2]・佐藤卓也[3]・吉田裕一[4]・山崎敬亮[5]・石津文人[1]（[1]島根農技セ, [2]奈良農研セ, [3](株) ジャパンマゴットカンパニー, [4]岡山大院環境生命科学研究科, [5]農研機構西日本農研）
11:30	果 011 ニホンナシ’なつみず’に発生する果実障害「果芯褐変」の原因解明と対策技術確立に向けて ○廣瀬恭祐（神奈川農技セ）	果 035 自然条件下で連続開花性を示すサザンハイブッシュブルーベリー‘ブルーマフィン’の花成関連遺伝子の発現解析 ○松崎隆介・山根久代・海老原脩・田尾龍太郎（京都大院農学研究科）	果 056 普遍性の高いモモ花粉稔性識別マーカーの開発 ○小田賢司[1]・原美由紀[1]・田村隆行[2]・日原誠介[2]（[1]岡山農総セ生科研, [2]岡山農総セ農研）		野 011 新奇トマト耐暑性変異体の特性解析 ○藤田覚史[1]・星川健[2]・江面浩[2]（[1]筑波大院生命環境科学研究科, [2]筑波大生命環境系）	野 034 イチゴ花器の発育と奇形果発生に対するホウ素（B）栄養の影響 ○金城朱理[1]・吉田裕一[1]・日高啓[2]・後藤丹十郎[1]・安場健一郎[1]・田中義行[1]（[1]岡山大院環境生命科学研究科, [2]旭化学工業（株））
11:45	果 012 ニホンナシ‘ゴールド二十世紀’果実における CO_2 固定 ○菊地悠太・平塚伸・名田和義（三重大院生物資源学研究科）	果 036 シーベリー（*Hippophae rhamnoides* L.）品種群の遺伝的分化の解析 ○朝倉史明[1]・長谷川聖[1]・菊地理絵[1]・近藤勝彦[2]・河合義隆[3]（[1]神奈川大工学部, [2](財) 進化生物学研, [3]東京農大農学部）	果 057 高糖系大果マンゴー‘あま太閤’の DNA マーカーによる花粉親の推定並びに果実熟度が果実品質および日持ち性に及ぼす影響 ○文室政彦[1]・中島　紫[2]（[1]近畿大附属農場, [2]かずさ DNA 研）			野 035 イチゴの痩果と果托の内生植物ホルモンの網羅的分析 ○児島清秀・青木智香（新潟大農学部）

第 1 日　9 月 2 日（土）　10:30 ～ 12:00

野菜 III C4–101	野菜 IV C5–201	花き I C1–101	花き II C1–201	花き III C1–301	利用 I C5–101	時 間
野 054 pH が異なる低濃度培養液でのマイクロバブル処理が水耕コマツナの生育に及ぼす影響 ○松村怜[1]・畑直樹[2]・南川久人[3]・原田英美子[2]・安田孝宏[3]・栗本遼[3]・宮嵜一樹[3]（[1]滋賀県立大院工学研究科, [2]滋賀県立大環境科学部, [3]滋賀県立大工学部）	野 077 アスパラガスにおけるウイルスの全身感染メカニズムの解析 ○阿部小繭[1]・園田高広[2]・増田税[1]・実山豊[1]・鈴木卓[1]・志村華子[1]（[1]北海道大院農学研究科, [2]酪農学園大）	花 007 トレニア新規交配種の獲得 Laojunta, Tanapoom・鳴海貴子・○深井誠一（香川大農学部）	花 029 ライラックの花の香りの多様性 ○大久保直美[1]・庵原英郎[2]・森田義寿[2]（[1]農研機構野菜花き部門, [2](公財）札幌市公園緑化協会）	花 048 無側枝性ギクの採穂数に及ぼす温度と BA 処理の影響 ○大谷志穂・川村通（島根農技セ）	利 007 高粉質系カボチャの貯蔵特性 ○鮫島陽人[1]・満留克俊[2]・徳永太藏[2]・桑鶴紀充[2]・嘉見大助[3]・杉山慶太[3]（[1]鹿児島大隅加技研セ, [2]鹿児島農開総セ, [3]農研機構北農研）	10:30
野 055 寒玉系キャベツ春どり栽培におけるべたがけ開始時期が収量および抽台に及ぼす影響 ○町田剛史・竹内大造・大木浩（千葉農林総研セ）	**栽培・生育生理（キュウリ等） 木村　美紀** 野 078 キュウリの循環型養液栽培における日射量を指標とする養分供給量の検討 ○遠藤昌伸・相川敏之・種村竜太（新潟農総研園研セ）	花 008 Tri-parental hybrids of torenia via ovule culture ○ Laojunta, Tanapoom・鳴海貴子・深井誠一（香川大農学部）		花 049 ラナンキュラスの日長延長 ○原田聖斗・中村薫・長友広明（宮崎総農試）	**接木・光・材料 森　仁志** 利 008 タバコ属を用いた異科接木の解析 ○野田口理孝[1, 2, 3]・岡安浩次[1]・澤井優[1]・岡田龍[1]・丹羽優喜[1]（[1]名古屋大院生命農学研究科, [2]名古屋大トランスフォーマティブ生命分子研究所, [3]JST さきがけ）	10:45
野 056 近縁アブラナ科植物への接ぎ木によるキャベツの無低温処理・早期開花系 ○元木航・土井元章・細川宗孝（京都大院農学研究科）	野 079 キュウリの光合成における熱ストレス耐性の品種間差 ○名田和義・西條水貴・平塚伸（三重大院生物資源学研究科）	**育種 3 清水　圭一** 花 009 フリージア「石川 f2 号」～「石川 f7 号」の育成 ○村濱稔[1]・平野春菜[2]・井須博史[3]・松田絵里子[1]（[1]石川農林総研セ, [2] 石川県庁, [3] 南加賀農林総合事務所）		**栽培・作型 2 森　義雄** 花 050 バラアーチング栽培における 1 日の炭素収支をシミュレートするシステムダイナミクスモデルの構築 ○小野伊織[1]・森聡太[1]・稲本勝彦[2]・後藤丹十郎[3]・土井元章[1]（[1]京都大院農学研究科, [2]農研機構野菜花き部門, [3]岡山大院環境生命科学研究科）	利 009 LED optimization for growth and leaf antioxidant content of coffee (*C. arabica* L.) ○ Acidri, Robert[1]・中村優子[2]・笹川大輔[3]・Wacal, Cosmas[3]・Basalirwa, Daniel[1]・加藤みな美[4]・澤井由美子[5]・西原英治[4]（[1]鳥取大農学研究科, [2](地独）鳥取産業技術セ, [3]鳥取大連合農学研究科, [4]鳥取大農学部, [5](株）澤井珈琲）	11:00
栽培（ダイコン・ブロッコリー等） 町田　剛史 野 057 冬春ダイコンの生育における地球温暖化の影響評価（第 2 報）機構的生育モデル（暫定版）の作成 ○高田敦之[1]・太田和宏[2]・岡田邦彦[3]（[1]神奈川農技セ, [2]神奈川農技セ三浦, [3]農研機構野菜花き部門）	野 080 ニガウリの長期保存花粉の発芽率に対する前処理と順化処理の影響 ○谷合直樹（沖縄農研セ）	花 010 ホオズキ新品種 ‘佐賀 H5 号’ および ‘佐賀 H6 号’ の育成 ○松本茜[1]・髙取由佳[1, 3]・千綿龍志[1, 4]・宮崎雄太[1, 5]・松尾洋一[1, 6]・坂本健一郎[1]・松村司[1]・大藪榮興[2]（[1]佐賀農試研セ, [2]元佐賀農試研セ, [3]杵島農改普セ, [4]東松浦農改普セ, [5]佐賀県庁, [6]佐賀上場営農セ）		花 051 ダリア花茎の生育に及ぼす採花節位の影響 ○宮本賢二[1]・神谷勝己[1]・名取和宏[1]・大澤健治[1, 2]・宮坂昌実[1]・笹脇彰徳[1, 3]（[1] 長野野菜花き試, [2]長野農試, [3]長野果樹試）	利 010 新規植物親和性材料およびその利用について（第一報） ○石丸恵[1]・古薗勉[1]・神崎真哉[2]・伴琢也[3]（[1]近畿大生物理工学部, [2]近畿大農学部, [3]東京農工大農学部）	11:15
野 058 ブロッコリー側枝利用による収穫期の延長と増収効果 ○高橋徳・中野有加・佐々木英和（農研機構野菜花き部門）	野 081 クロマルハナバチによる受粉が促成栽培ヘちまの収量および果実品質に及ぼす影響 ○棚原尚哉（沖縄農研セ）	花 011 花ハス新品種 ‘月のほほえみ’ の育成とその特性 ○石川祐聖・工藤新司（東京大院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構）		花 052 緑色花ユリで頻発する葉脈間クロロシスは根量の低下に起因する ○安井俊樹[1]・北村嘉邦[2]（[1]信州大院総合理工学研究科, [2]信州大農学部）		11:30
野 059 育苗初期または定植後の温度処理がケール苗の根の活着力に及ぼす影響 ○小高宏樹[1]・高橋加奈[2]・相部かおり[2]・鈴木克己[3]・切岩祥和[3]（[1]静岡大院総合科学技術研究科, [2](株）ファンケル総研, [3]静岡大農学部）				花 053 EOD-FR 処理と生育温度がストックの花芽分化に及ぼす影響 ○中島静[1]・竹村圭弘[2]・岸本真幸[3]・田村文男[2]（[1]鳥取大院農学研究科, [2]鳥取大農学部, [3]鳥取園試）		11:45

第 2 日　9 月 3 日（日）　9:00 ～ 10:30

時間	果樹 I C5–202	果樹 II C5–301	果樹 III C5–302	野菜 I C4–301	野菜 II C4–201
9:00	**遺伝資源（常緑果樹）** **今井　篤** 果 013 ITS 領域および SSR マーカーによる沖縄のコーヒーノキの系統解析 ○川口謙二[1]・森田裕之[2]・手塚孝弘[1]（[1]大阪府立大院生命環境科学研究科, [2]大阪府立大院人間社会システム科学研究科）	**核果類** **別府　賢治** 果 037 複針付傷接種法によるモモのせん孔細菌病抵抗性の遺伝について ○末貞佑子[1, 2]・澤村豊[1]・安達栄介[3]・山口正己[4]・八重垣英明[1]・山田昌彦[5]・山本俊哉[1, 2]（[1] 農研機構果樹茶部門, [2]筑波大院生命環境科学研究科, [3]山形県庁, [4]東京農業大農学部, [5]日本大生物資源科学部）	**リンゴ I** **阿部　和幸** 果 058 タイプ 1 赤果肉リンゴ‘メイポール’の F1 後代と F2 後代における果実形質の比較 ○沢田葵・伴野潔（信州大院農）	**栽培 1（トマト）** **川上　暢喜** 野 012 2 本仕立てが低段・多段組み合わせ土耕栽培したトマトの生育と収量に及ぼす影響 ○吉田康徳[1]・畑山郎葉[1]・神田啓臣[1]・渡部信之[2]（[1]秋田県大生物資源, [2]能代市農技セ）	**遺伝子解析 1** **星川　健** 野 036 栽培イチゴ（*Fragaria* x *ananassa*）MAGIC 集団を用いた完着期果実の遺伝子発現プロファイリング ○永野聡一郎[1]・平川英樹[1]・和田卓也[2]・田崎公久[3]・前田ふみ[4]・Ghelfi, Andrea[1]・森美幸[2]・鶴見理沙[3]・津金胤昭[4]・坪根正雄[2]・飯村一成[3]・白澤健太[1]・奥幸一郎[2]・大橋隆[3]・渡邉学[4]・生井潔[3]・磯部祥子[1]（[1]（公財）かずさ DNA 研, [2]福岡農林総試, [3]栃木農試, [4]千葉農林総研セ）
9:15	果 014 ミカン亜科の分子系統解析 ○永野幸生[1]・三村高史[2]・古藤田信博[2]・松本亮司[2]・永野惇[3, 4, 5]・本庄三恵[3]・工藤洋[3]・山本雅史[6]（[1]佐賀大総合分析セ, [2]佐賀大農学部, [3]京都大生態研, [4]JST PRESTO, [5]龍谷大農学部, [6]鹿児島大農学部）	果 038 セイヨウスモモの立ち枯れ要因 ○牧慎也[1]・楢木淑恵[1]・黒田恭平[2]・幡本将史[1]・山口隆司[1]・城惣吉[3]・松本敏一[3]（[1]長岡技大, [2]都城高専, [3]島根大）	果 059 リンゴ‘ふじ’の果実肥大特性 澤村大祐[1]・佐々木真人[2]・柳本麻衣[2]・森田泉[3]・田中紀充[4]・渡邉学[5]・○小森貞男[1]（[1]岩手大農学部, [2]岩手農研セ, [3]秋田果樹試, [4]弘前大農学生命科学部, [5]岩手大農学部附属寒冷フィールド教育研セ）	野 013 葉先トリミングがトマト群落の受光態勢及び乾物生産に及ぼす影響 ○東出忠桐・望月佑哉・斉藤岳士・河崎靖・安東赫・大山暁男（農研機構野菜花き部門）	野 037 イチゴゲノム解析と果実硬度に関するゲノミックセレクションの試み 永野聡一郎[1]・白澤健太[1]・平川英樹[1]・前田ふみ[2]・渡邉学[2]・野口裕司[3]・片岡園[3]・和田卓也[4]・奥幸一郎[4]・生井潔[5]・田崎公久[5]・中谷明弘[6]・柳智博[7]・○磯部祥子[1]（[1]かずさ DNA 研, [2]千葉農林総研, [3]農研機構, [4]福岡農林総試, [5]栃木農試, [6]大阪大, [7]香川大）
9:30	果 015 奄美群島在来カンキツ類の果実特性 ○山本雅史・西口奈月（鹿児島大農学部）	果 039 スモモの樹体ジョイント仕立てにおける回転受粉毛式機械の利用が人工受粉の作業性に及ぼす影響 ○平井一幸・原昌生・町田典之・岡本安祐美（群馬農技セ）	果 060 ジベレリンおよびホルクロルフェニュロン処理がリンゴ‘ふじ’の果実肥大に及ぼす効果 ○松本和浩[1, 2]・藤田知道[2]・佐藤早希[2]（[1]静岡大農学部, [2]弘前大農生学部生物共生教育研セ藤崎農場）	野 014 未熟葉の摘葉処理がトマトの生育および群落内光環境に及ぼす影響 ○安東赫[1]・原田正志[2]（[1]農研機構野菜花き部門, [2]徳島農総技支セ）	野 038 トマトにおける *MYB3R* 遺伝子の機能解析 ○奥村瞳・伊藤正樹・太田垣駿吾・松本省吾・白武勝裕（名古屋大院生命農学研究科）
9:45	**カンキツ I** **國武　久登** 果 016 レモン自然交雑で生じた小粒種子の利用による三倍体の育成 ○柳本裕子・金好純子（広島総研農技セ）	果 040 ウメ‘南高’果実への被覆剤の散布時期および回数が果皮障害“黒点症（通称）”および“油揚げ症（通称）”の軽減効果に及ぼす影響 ○城村徳明[1]・行森啓[2]（[1]和歌山果樹試うめ研, [2]和歌山日高振興局）	果 061 リンゴの不織布ポット養成フェザー苗利用による初期収量向上効果 ○大野浩[1]・及川耳呂[2]・小原繁[3]・佐々木真人[1]（[1]岩手農研セ, [2]岩手一関農改セ, [3]岩手農林水産部）	野 015 赤外線カットフィルムによる遮光が夏期におけるトマトの生育環境および生育・収量に及ぼす影響 ○宮本哲郎・岩本英伸（熊本農研セ高原農研）	野 039 Genome-wide analysis of ATP Binding Cassette (ABC) Proteins in Tomato ○ Ofori, Peter Amoako[1]・Mizuno, Ayaka[1]・Enrico, Martinoia[2]・Stefan, Reuscher[1]・Aoki, Koh[3]・Shibata, Daisuke[4]・Otagaki, Shungo[1]・Matsumoto, Shogo[1]・Shiratake, Katsuhiro[1]（[1]Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University, [2]Department of Plant and Microbial Biology, University of Zurich, [3]Graduate School of Life and Environmental Sciences, Osaka Prefecture University, [4]Kazusa DNA Research Institute）
10:00	果 017 四倍体ヒュウガナツ×二倍体ブンタンによる三倍体の作出とその果実形質の変動 ○金好純子[1]・柳本裕子[1]・古田貴音[1]・北島宣[2]（[1]広島総研農技セ, [2]京都大院農学研究科）	**機能性成分・食味評価** **長田　恭一** 果 041 イメージング質量分析によるハスカップ，ミヤマウグイスカグラおよびこれらの種間雑種果実のアントシアニンの分布比較 ○藤田凌平[1]・早坂孝宏[2]・神繁樹[3]・星野洋一郎[1, 4]（[1]北海道大院環境科学院, [2]北海道大院医学研究院, [3]北海道大院保健科学研究院, [4]北海道大北方生物圏フィールド科学セ）	**リンゴ II** **佐々木　真人** 果 062 リンゴの樹体ジョイント仕立てによる栽培法の確立　4. 樹高の違いが定植 3 年目までの生育と収量に及ぼす影響 ○武田甲[1]・柴田健一郎[2]（[1]神奈川農技セ（北相）, [2]神奈川農技セ）	**栽培 2（トマト）** **東出　忠桐** 野 016 夏季の雨除けトマト栽培での放射状裂果の発生と開花期から幼果期までの気温との関係 ○佐野大樹・川村宜久・飛川光治（岡山農研）	**遺伝子解析 2** **藤本　龍** 野 040 SSR マーカーを用いた国内産トウガラシ在来品種（Capsicum annuum）の遺伝的類縁関係の解析 ○車田翔平[1]・朴永俊[2, 4]・南峰夫[2]・根本和洋[3]・松島憲一[3]（[1]信州大院総合理工学研究科, [2]信州大農学部, [3]信州大学術研究院（農）, [4]韓国農漁村公社農漁村研究院）
10:15	果 018 カンキツにおける DNA のメチル化が接ぎ木苗形質のばらつきに及ぼす影響 ○岡部春菜[1]・永野幸生[2]（[1]佐賀果樹試, [2]佐賀大総合分析実験センター）	果 042 北方系バラ属（Rosa）野生種および交配種果実の抗酸化活性値および成分にみられる特徴 ○長田亜梨沙（北海道大院農）	果 063 リンゴの葉中窒素濃度と葉緑素計の値の関係 ○井上博道・草場新之助（農研機構果樹茶部門）	野 017 Effects of Hairy Vetch Management and Controlled-release N Fertilizer on Soil carbon and Fresh-market Tomato Yield in a Greenhouse ○ Muchanga, Rafael[1]・荒木肇[2]（[1]北海道大院環境科学院, [2]北海道大北方生物圏フィールド科学セ）	野 041 トウガラシ（*Capsicum chinense*）交雑集団における辛味関連成分に関する QTL pAMT とその効果 ○田中義行・キリーエラスムス・後藤丹十郎・吉田裕一・安場健一郎（岡山大院環境生命科学研究科）

第 2 日　9 月 3 日（日）　9:00 ～ 10:30

野菜 III C4–101	野菜 IV C5–201	花き I C1–101	花き II C1–201	花き III C1–301	利用 I C5–101	時間
栽培（ナバナ・ミズナ等） **高田　敦之** 野 060 ナバナの品質成分に及ぼすカリウム高濃度施与の効果は成育温度で変化する ○田中美穂・藤井琢馬・名田和義・平塚伸（三重大院生物資源学研究科）	**育種・栽培（メロン）** **葛谷　真輝** 野 082 極少量培地耕における変濃度管理の培養液組成が温室メロンの果実品質に及ぼす影響 ○岡田健二郎・小池晶子・中山正和・切岩祥和・鈴木克己・糠谷明（静岡大農学部）	**遺伝資源** **小野崎　隆** 花 012 形態調査と SSR 解析によるミカワヤマツツジの起源推定 ○中村匠[1]・小岩井和起[1]・倉重祐二[2]・小林伸雄[3]・半田高[4]（[1]明治大院農学研究科, [2]新潟県立植物園, [3]島根大生物資源科学部, [4]明治大農学部）	**遺伝子解析・マーカー 1** **中塚　貴司** 花 030 キク属植物におけるカロテノイド酸化開裂酵素遺伝子の多様性解析 ○柴田道夫[1]・樋口洋平[1]・高橋麻美[1]・西崎哲也[1]・王力超[1]・大宮あけみ[2]・住友克彦[2]・草場信[3]（[1]東京大院農学生命科学研究科, [2]農研機構野菜花き研究部門, [3]広島大院理学研究科）	**栽培・作型 3** **白山　竜次** 花 054 新型根域環境制御装置（N.RECS）による夏季の根域冷却がミニシクラメンの生育開花に及ぼす影響 ○村松嘉幸・窪田聡・新井結衣・須賀智春・腰岡政二（日本大生物資源科学部）	**機能性成分** **村上　覚** 利 011 品質向上技術や収穫後処理がウンシュウミカン果実の β-クリプトキサンチン含量に及ぼす影響 ○濵崎櫻・山家一哲（静岡農林技研果樹研セ）	9:00
野 061 収穫前の遮光除去処理が水耕ミズナの生育と品質に及ぼす影響 ○近藤謙介[1]・福田宇恭[2]・桐村聡子[2]・山口武視[1]・野波和好[1]・松添直隆[3]（[1]鳥取大農学部, [2]鳥取大院農学研究科, [3]熊本県立大環境共生学部）	野 083 ‘アールスフェボリット’の果実における糖組成の特性 ○古川一[1]・馬場智希[2]（[1]大阪府立大院生命環境科学研究科, [2]大阪府立大生命環境科学域）	花 013 核 SSR マーカーおよび ITS 領域によるインドネシア産アジサイの系統解析 ○片山千絵[1]・札埜高志[2]・北村嘉邦[3]・上町達也[4]・Kesmawati, Elly[5]・細川宗孝[1]（[1]京都大院農学研究科, [2]兵庫県立大院緑環境景観マネジメント研究科, [3]信州大農学部, [4]滋賀県立大環境科学部, [5]Syiah Kuala University）	花 031 カーネーション枝変わり品種群ミニティアラシリーズにおけるフラボノイド生合成関連遺伝子の発現解析 ○杉原寛章・森本隼人・鳴海貴子・高村武二郎・深井誠一（香川大農学部）	花 055 簡易設置型パッドファン冷房が高温期のパンジー・ビオラの生育に及ぼす影響 ○川嶋浩樹・吉越恆（農研機構西日本農研セ）	利 012 UV-C 照射がポンカン果皮のフラベドにおけるノビレチン含量に及ぼす影響 ○山家一哲・浜崎櫻（静岡農林技研果樹研セ）	9:15
野 062 ワサビ超促成栽培における保温開始時期が生育、収量に及ぼす影響 ○日高輝雄・重藤祐司・木村靖（山口農総技セ）	野 084 メロン黄化えそ病抵抗性メロン遺伝資源の検索 ○杉山充啓[1]・下村晃一郎[1]・川頭洋一[1]・櫻井民人[2]（[1]農研機構野菜花き部門, [2]農研機構中央農研）	花 014 バラゲノムにおける *Ty1/copia* 群レトロトランスポゾン *RoRE1* のシークエンス解析およびコピー数測定 ○加藤大地[1]・河村耕史[2]・中尾壮志[1]・白武勝裕[1]・松本省吾[1]・太田垣駿吾[1]（[1]名古屋大院生命農学研究科, [2]大阪工業大工学部）	花 032 カーネーション枝変わり品種群「ミナミシリーズ」における赤色品種‘トミーミナミ’の出現機構の解明 ○森本隼人・鳴海貴子・高村武二郎・深井誠一（香川大農学部）	花 056 耐乾性を有する花壇用花きの選定 ○岡澤立夫[1]・小幡彩夏[2]（[1]東京農林総研セ, [2]東京島しょ農水セ大島）	利 013 サツマイモ茎葉の保蔵条件がカフェオイルキナ酸含量に与える影響 ○倉田理恵[1]・小林透[1]・甲斐由美[1]・邑上健[2]・竹内潔[2]・佐藤幸蔵[3]（[1]農研機構九沖農研, [2]（株）富士フイルム, [3]（株）ナノイノベーション研究所）	9:30
栽培（タマネギ） **西畑　秀次** 野 063 タマネギの種苗用セット球生産における播種密度と収穫物サイズの関係 ○室崇人・嘉見大助・杉山慶太（農研機構北農研）	**栽培等** **（スイカ・ペピーノ）** **野﨑　克弘** 野 085 転炉スラグを用いた土壌 pH 調整がスイカ葉の苦土含量に及ぼす影響 ○木村美紀・鈴木秀章（千葉農林総研セ）	**収穫後生理 1** **半田　高** 花 015 バラ‘サムライ 08’の日持ち日数と観賞限界時の症状の関係 ○本間義之・外岡慎（静岡農林技研）	花 033 カーネーションにおける温度依存性の異常花についての分子生物学的解析 ○山根健治[1, 2]・黒倉健[1]・鈴木智大[2]・小島渚沙[1]・ウォララッドカンジャヤナ[1, 3]・石井一夫[3, 4]（[1]宇都宮大農学部, [2]宇都宮大バイオサイエンス教育研究セ, [3]東京農工大院連合農学研究科, [4]久留米大バイオ統計セ）	花 057 冬季のトンネル処理における温度条件がストックの茎伸長に及ぼす影響 ○島浩二[1]・濵名大輝[1]・松本比呂起[1]・宮前治加[2]（[1]和歌山農試, [2]和歌山農試暖園セ）	利 014 窒素、リン酸、カリ施肥量がサツマイモ茎葉のポリフェノール含量に与える影響 ○小林透[1]・倉田理恵[1]・細川隆史[2]・三田村康弘[2]（[1]農研機構九沖農研, [2]（株）富士フイルム）	9:45
野 064 寒冷地におけるセット球を利用したタマネギ初冬どり新作型に適する品種特性 ○木下貴文・濱野恵・山本岳彦・山崎篤（農研機構東北農研）	野 086 スイカのトンネル栽培における整枝・つる引き作業の改善 ○白岩裕隆・川口亜弓・森本康史（鳥取園試）	花 016 ダリアの花の老化におけるエチレンの影響 ○東未来[1, 2]・小野崎隆[1]・市村一雄[1]（[1]農研機構野菜花き部門, [2]日本大生物資源科学部）	**遺伝子解析・マーカー 2** **牛島　幸一郎** 花 034 ダリアの小花の形態形成には CYC2 と MADS Box 遺伝子が関与している ○久保田一輝・出口亜由美・國分尚・三吉一光（千葉大院園芸学研究科）	**病虫害・生理障害** **松下　陽介** 花 058 根洗いおよび根鉢の薬剤浸漬処理がツバキの生育に及ぼす影響 ○近藤孝治[1]・井樋昭宏[1]・国武利浩[1]・中村知佐子[2]（[1]福岡農林試資源セ, [2]筑後農林南筑後普セ）	利 015 気温がクワ葉中機能性成分含有量に及ぼす影響 ○杉山万里[1]・勝部拓矢[2]・小山朗夫[3]・板村裕之[4]（[1]島根農技セ, [2]島根産技セ, [3]元生資研, [4]島根大生物資源科学部）	10:00
野 065 直播タマネギの展葉速度と日平均気温との関係の解析 ○臼木一英[1]・室崇人[1]・末貞辰朗[2]・東野裕広[2]・川城英夫[2]・森田直彦[2]・森永靖武[2]（[1]農研機構北農研, [2]JA 全農）	野 087 処理幅の異なるリング処理がペピーノの生育および果実品質に及ぼす影響 ○高畑健[1]・水村光希[1]・原田恭宏[2]（[1]東京農大農学部, [2]誠和（株））	花 017 開花時および 6- ベンジルアミノプリン処理時におけるダリア花弁の糖質および酸性インベルターゼ活性の変化 ○湯本弘子[1]・辻本直樹[2, 3]・仲照史[2]（[1]農研機構野菜花き部門, [2]奈良農研セ, [3]現北部農林振興事務所）	花 035 R. chinensis 八重咲き形質原因変異の探索 ○黒倉健[1]・河鰭実之[2]（[1]宇都宮大農学部, [2]東京大院農学生命科学研究科）	花 059 Effects of light conditions involved in cold treatment on disappearance of two viroids infecting to chrysanthemum and on regeneration efficiency of cryotherapy ○ Li, Jingwei・鍋島朋之・細川宗孝（京都大院農学研究科）	**非破壊解析・** **品質評価・加工** **立石　亮** 利 016 メロン品種‘タカミ’において貯蔵温度が熟度に与える影響と打音解析による熟度の推定 ○藤井雄樹・安藤利夫・竹内大造・飯嶋直人・家壽多正樹（千葉農林総研セ）	10:15

第 2 日　9 月 3 日（日）　10:30 ～ 12:00

時間	果樹 I C5–202	果樹 II C5–301	果樹 III C5–302	野菜 I C4–301	野菜 II C4–201
10:30	果 019 スペルミジン合成酵素遺伝子を恒常的に発現するオレンジ組換え体のかいよう病菌接種に対する反応 ○今井剛・藤川貴史・遠藤朋子・土師岳・森口卓哉（農研機構果樹茶部門）	果 043 ブドウ培養細胞におけるレスベラトロールおよびアントシアニン輸送体の同定を目指したプロテオミクス ○瀧萌子[1]・深尾陽一朗[2]・太田垣駿吾[1]・松本省吾[1]・白武勝裕[1]（[1]名古屋大院生命農学研究科, [2]立命館大生命科学部）	果 064 リンゴ果肉組織における成熟およびみつ症発生に伴う糖質分布の変化 ○堀川謙太郎・平間琢也・志村華子・実山豊・鈴木卓（北海道大院農）	野 018 トマト水耕栽培の春夏作におけるアンモニア態窒素量管理法の検討 ○寺林敏・清原孝啓・伊達修一（京都府立大院生命環境科学研究科）	野 042 マングローブ植物の耐塩性遺伝子を導入したジャガイモの選抜と解析 ○永田真梧[1]・大杉紗世[1]・山田晃世[3]・小関良宏[3]・渡邉和男[2]・菊池彰[2]（[1]筑波大院生命環境科学研究科, [2]筑波大 T-PIRC 遺伝子実験センター, [3]東京農工大院工学研究院生命機能科学部門）
10:45	**カンキツ II** **根角　博久** 果 020 カンキツ‘はれひめ’のシートマルチ栽培における点滴かん水施肥による吸肥特性 ○三堂博昭・藤原文孝・重松幸典・石川啓（愛媛農研果樹研セ）	果 044 マンゴーの果皮着色に関わる転写制御因子の解析 ○一樋明日香[1]・神川汐里[1, 4]・志水恒介[2]・小枝壮太[3]・神崎真哉[3]（[1]近畿大院農学研究科, [2]近畿大附属農場, [3]近畿大農学部, [4]奈良県庁）	**カキ** **朝隈　英昭** 果 065 カキ‘八秋’と六倍体カキの交配から得られたわい性の七倍体 ○薬師寺博・山崎安津・杉浦裕義・東暁史・西村遼太郎（農研機構果樹茶部門）	野 019 閉鎖型養液栽培システムにおける養液管理がトマトの果実品質に与える影響．第 2 報 貯留液の塩濃度の比較 ○野口貴・木下沙也佳・沼尻勝人・海保富士男（東京農林総研セ）	野 043 グリーンアスパラガスにおける紫色物質の蓄積を制御する遺伝子について ○津釜大侑[1]・菅野明[2]・藤野介延[1]（[1]北海道大院農学研究院, [2]東北大院生命科学研究科）
11:00	果 021 カラタチ台ウンシュウミカンの双幹形仕立てにおける定植後の生育，収量および果実品質 ○豊福ユカリ[1]・乗原実[2]・松本和紀[3]・千々和治幸[1]（[1]福岡農林試, [2]福岡県農林水産政策課, [3]福岡農林試資源セ）	果 045 イチジクの食味評価法（第 1 報） 味覚センサー利用性の検討 ○池上秀利・姫野修一・尾形武文（福岡農林試豊前）	果 066 IBA の処理条件および暗黒処理がカキわい性台木品種‘静カ台 1 号’および‘静カ台 2 号’の培養シュートの発根に及ぼす影響 ○橋本望・荒木勇二・村上覚・山口和希（静岡農技研果樹研セ）	**環境制御（トマト）** **寺林　敏** 野 020 トマト果実のイオノームに及ぼす光質の影響 ○渋谷知暉[1]・渡部敏裕[2]・金山喜則[1]（[1]東北大院農学研究科, [2]北海道大院農学研究院）	**遺伝子解析 3** **宇野　雄一** 野 044 Bacterial preference in rhizosphere soil of pakchoi under organic and inorganic fertilization ○廖健利[1]・梁韵[1]・ムハンマドハリド[1]・黄丹楓[1]・徐会連[2]（[1]上海交通大学農生学院, [2]自然農法国際研究開発セ）
11:15	果 022 カンキツ‘せとみ’における果皮障害発生の要因解明 ○兼常康彦[1]・宮田明義[2]・西岡真理[1]・村本和之[3]・岡崎芳夫[1]（[1]山口農林総技セ, [2]元山口農林総技セ, [3]山口県岩国農林）		果 067 スーパークーリングシステム（SCS）におけるカキ‘西条’の個包装脱渋条件の検討 ○大畑和也[1]・川上裕也[1]・高橋利幸[1]・岩谷洋美[1]・奥敏明[2]・安田雄治[1]・倉橋孝夫[1]・中務明[3]・板村裕之[3]（[1]島根農技セ, [2]オクフルーツファーム, [3]島根大生物資源科学部）	野 021 有機薄膜太陽電池を設置した温室における日射量の予測値と実測値との比較検証 ○寺中恭介[1]・池田知司[2]・滝澤理仁[2]・土井元章[2]（[1]KANSO テクノス, [2]京都大院農学研究科）	野 045 *Brassica rapa* L. における春化による *FLOWERING LOCUS C* のエピジェネティックな修飾変化の系統間比較 ○高田紗都子[1]・板橋悦子[2]・宮路直実[1]・安田（高崎）剛志[1]・藤本龍[1]（[1]神戸大院農学研究科, [2]農研機構野菜花き部門）
11:30	果 023 ウンシュウミカン果実における炭酸ガス固定産物の昼夜間差 ○冨谷拓幹・平塚伸・名田和義・冨谷有喜（三重大院生物資源学研究科）		果 068 スーパークーリングシステム（SCS）におけるカキ‘太天’の長期貯蔵法の検討 ○高橋利幸（島根県農業技術センター）	野 022 温室栽培トマトの生育ならびに果実収量に群落内局所的 CO_2 施用が及ぼす影響 ○廣木晃人[1]・藤内直道[2]・神野響一[3]・鈴木誠[3]・成末義哲[3]・松倉千昭[2]・江面浩[2]・福田直也[2]（[1]筑波大院生命環境科学研究科, [2]筑波大生命環境系, [3]東京大院工学系研究科）	野 046 MeDIP-seq によるハクサイ系統間の DNA メチル化比較解析 ○藤本龍[1]・高橋聡史[2]・鈴木穣[3]・関原明[2]・安田剛志[1]（[1]神戸大院農学研究科, [2]理研環境資源科学研究セ, [3]東大院新領域創成科学研究所）
11:45	果 024 ウンシュウミカン果実における糖新生代謝の解析 ○冨谷有喜（三重大院生物資源学研究科）			野 023 生ガス式 CO_2 施用における設定濃度の違いがトマトの収量と施用効率に及ぼす影響 ○川上暢喜・中塚雄介・清原佑介・矢ヶ崎和弘（長野野菜花き試）	野 047 萎黄病抵抗性・感受性ハクサイ系統における萎黄病菌感染時転写応答の解明 ○宮路直実[1]・清水元樹[2]・高田紗都子[1]・加治誠[3]・安田（高崎）剛志[1]・岡崎桂一[4]・藤本龍[1]（[1]神戸大院農学研究科, [2]岩手生工研, [3]（株）渡辺採種場, [4]新潟大院自然科学研究科）

第 2 日　9 月 3 日（日）　10:30 ～ 12:00

野菜 III C4–101	野菜 IV C5–201	花き I C1–101	花き II C1–201	花き III C1–301	利用 I C5–101	時間
野 066 時期別灌水量が春まきタマネギの生育，蒸散量およびりん茎肥大へ及ぼす影響 ○山本岳彦・池田裕樹・山崎篤（農研機構東北農研）	野 088 ベビーノ台への接ぎ木がトマトの果実糖度に及ぼす影響 ○水村光希・高畑健・峯洋子（東京農大農学部）	花 018 切り前の違いによる切り花アジサイの日持ちの違いと日持ちが終了する要因 ○北村嘉邦・上野祥代・相澤宏衣・ティオウェイウェイ（信州大農学部）	花 036 Rosa multiflora と Rosa 'PEKcougel' における交雑後代への房咲き性の遺伝 ○大藪緑（岐阜大院応用生物科学研究科）	花 060 リンドウこぶ症における種子伝染および花粉伝染の可能性は低い ○阿部弘[1]・岩井摩莉[2]・関根健太郎[3]・藤崎恒喜[2]（[1]岩手農研セ, [2]岩手生工研セ, [3]琉球大農学部）	利 017 振動エネルギーと粘弾性測定によるキュウリの食感測定 ○秋元秀美・櫻井直樹（広島大院生物圏科学研究科）	10:30
栽培・生理障害 （タマネギ・ニンジン） 室　崇人 野 067 MALDI-TOF Imaging MS を利用したタマネギ鱗茎におけるフルクタン分布の可視化 ○奥聡史[1]・志村華子[1]・前田智雄[2]・実山豊[1]・鈴木卓[1]（[1]北海道大院農, [2]弘前大農学生命科学部）	**栽培等 （ホウレンソウ等） 村上　健二** 野 089 超音波処理による発芽促進条件の検討 ○田中暢[1]・鈴木克己[2]・切岩祥和[2]（[1]静岡大院総合科学技術研究科, [2]静岡大農学部）	**収穫後生理 2 東　未来** 花 019 パンジー切り花のエチレン生成能と感受性および STS 処理効果 ○佐藤　惟[1]・市村一雄[2]（[1]神奈川県農業技術センター, [2]農研機構）	花 037 アジアティックハイブリッドユリの花芽分化時における FT 相同遺伝子の発現動態 ○黒河夏菜[1]・山岸真澄[2]・中塚貴司[1]（[1]静岡大院総科技研究科, [2]北海道大院農学研究院）		利 018 カキの酵素剥皮における品種および熟度の違いが果皮組織に及ぼす影響 ○山口和希・村上覚・橋本望・荒木勇二（静岡農技研果樹研セ）	10:45
野 068 タマネギの葉身切除時期がりん茎形成に及ぼす影響 ○西畑秀次・浅井雅美（富山県農林水産総合技術センター園芸研究所）	野 090 ヘアリーベッチとチャガラシの鋤き込みによるホウレンソウの生育促進および萎凋病抑制 ○漆畑裕次郎[1]・近藤則夫[2]・荒木肇[3]（[1]北海院環境, [2]北海道大院農学, [3]北海道大北方生物圏セ）	花 020 塩化カルシウムによる後処理と品種の違いがガーベラの日持ちに及ぼす影響 ○外岡慎（静岡農林技研）	**遺伝子解析・マーカー 3 深井　誠一** 花 038 RAD-seq 法を用いたキクタニギク細葉原因遺伝子 *needle leaf1* のマッピング ○中野道治[1]・有賀悠貴[1]・小塚俊明[1]・平川英樹[2]・住友克彦[3]・八木雅史[3]・中野善公[3]・久松完[3]・磯部祥子[2]・谷口研至[1]・草場信[1]（[1]広島大院理学研究科, [2]かずさ DNA研, [3]農研機構野菜花き部門）			11:00
野 069 トンネル春夏ニンジン栽培における栽培支援システム作成のための最適生育環境の把握 ○原田陽子[1]・村井恒治[1]・吉越恆[2]（[1]徳島農総技セ, [2]農研機構西日本農研）	野 091 種根茎の前処理がガジュツの生育・収量等へ及ぼす影響 ○杉村和実（宮崎総農試薬草・地域作物セ）	花 021 アサガオ切り花へのオートファジー阻害剤処理が老化花弁でのタンパク質分解に及ぼす影響 ○古内花織・上野尚也・嵯峨野将季・金勝一樹・山田哲也（東京農工大院農学府）	花 039 RAD-Seq を用いたアジサイ '城ヶ崎' 由来の八重咲き性因子と連鎖する SNPs の探索 ○奈島賢児[1]・白澤健太[2]・平川英樹[2]・磯部祥子[2]・巣山拓郎[3]・下村克己[3]・平島敬太[3]・和田卓也[3]・黒倉健[4]・阿久津翠[5]・小玉雅晴[5]・生井潔[5]（[1]日本大生物資源科学部, [2]かずさ DNA研, [3]福岡農林試資源セ, [4]宇都宮大農学部, [5]栃木農試）			11:15
野 070 秋冬ニンジン栽培における生育初期の培土がエクボ症の発生に及ぼす影響 ○高野幸成・鈴木健司・草川知行（千葉農林総研セ）		花 022 アサガオの 14-3-3 タンパク質をコードする *InPSR42* は液胞プロセシング酵素活性の調節を介して老化花弁における液胞崩壊を制御する ○嵯峨野将季[1]・小野華子[1]・清水圭一[2]・石井一夫[1]・古崎利紀[1]・渋谷健市[3]・市村一雄[3]・荻原勲[1]・金勝一樹[1]・山田哲也[1]（[1]東京農工大院農学府, [2]鹿児島大農学部, [3]農研機構野菜花き部門）	花 040 アマ科異形花型自家不和合性植物ゲノムの *de novo* assembly ○牛島幸一郎[1]・島田浩平[1]・池田和生[2]・中野龍平[1]・久保康隆[1]（[1]岡山大院環境生命科学研究科, [2]山形大農学部）			11:30
			花 041 *De novo* transcriptome analysis of *Porchulaca umbraticola* by RNA-seq ○ Maguvu, Tawanda Elias・樋口洋平・柴田道夫（東京大院農学生命科学研究科）			11:45